

平成18年10月27日

**都市公園法施行50周年記念事業
"日本の歴史公園100選"の選定結果について**

都市公園法施行50周年等記念事業実行委員会

我が国においては、古墳や城跡、庭園、文化的な価値を有する建造物などの歴史的・文化的資源を保全・再生・活用した公園が数多く存在しております。地域に個性や魅力をもたらすこれらの歴史的・文化的資源を再評価し、将来に継承することは、地域のアイデンティティの形成にとどまらず、観光立国の実現を通じ我が国経済の発展の礎を築くために大きな意義を有するものであります。

このため、当実行委員会では、歴史的・文化的資源の魅力を国の内外に広く伝えることにより、歴史的・文化的資源の保存・活用、観光振興、活力に満ちた地域社会の実現等に向け、地方自治体および広く国民の皆様から全国の歴史公園の中から優れたものについて、ご推薦いただき、この中から100箇所程度の公園を選定することと致しました。

全国から195件のご推薦をいただきました。本事業へのご協力、厚く御礼申し上げます。選定された公園については、公園を管理しておられる自治体に対し、当委員会から認定証をお贈りする予定です。

選定の結果は10月27日、日比谷公会堂で開催される「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会において発表する予定です。

お問い合わせ先： 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-16

社)日本公園緑地協会 田中 宛て

tel 03-3265-851 fax 03-3265-8553

(参考)

都市公園法施行50周年記念事業実行委員会構成団体

(社)日本公園緑地協会、(社)日本造園学会、(財)日本造園修景協会、(財)都市緑化基金

(財)日本緑化センター、(財)公園緑地管理財団、(財)国際花と緑の博覧会記念協会

(財)海洋博覧会記念公園管理財団、(財)都市緑化技術開発機構、(社)日本造園建設業協会

(社)日本造園組合連合会、(社)日本公園施設業協会、(社)日本家庭園芸普及協会

(社)ランドスケープコンサルタンツ協会

平成 18 年 10 月 27 日

「日本の歴史公園 100 選」について

日本の歴史公園 100 選 選定審査会

1. 日本の歴史公園 100 選の選定について

地域に個性や魅力をもたらす優れた歴史的・文化的資源を保存・継承・活用する公園の整備を推進することにより、観光振興や活力に満ちた地域社会の実現を目指すことを目的として、優れた事例を対象に「日本の歴史公園 100 選」の選定を行いました。

選定にあたり、平成 18 年 8 月 10 日から 9 月 8 日までの約 1 ヶ月間に、全国より 195 件の推薦をいただき、日本の歴史公園 100 選選定審査会（委員長 越澤 明・北海道大学大学院教授）を 10 月 5 日に開催し、推薦されたものから 112 件を該当する公園として選定しました。

資源の歴史性、文化性などの価値だけではなく、これらの資源を活かして優れた景観・環境が形成され、公園として一体性のある大きな魅力を創出していることなどを考慮した選定結果となっています。

選定された公園は、いずれも、地域に愛され、地域のシンボル、地域づくりの核、郷土の誇りとなるなど、地域振興の拠点となる公園整備の機運を高めていく代表的事例に相応しい公園であり、ここに広く公表します。

（参考資料）

- 別紙 1 日本の歴史公園 100 選リスト
- 別紙 2 日本の歴史公園 100 選 選定基準
- 別紙 3 選定審査会委員名簿

2. 第二次選定に向けた取り組みについて

今回の日本の歴史公園 100 選の選定にあたっては、約 1 ヶ月間に推薦のあったものを対象としましたが、「歴史的・文化的資源」の受け止められ方に、地方公共団体の間で大きな相違が見られ、例えば、「城」や「城趾」と一体となった公園に推薦が集中し、古代、近代の資源を活かした公園の推薦が相対的に少なく、地域間の推薦数にも大きな偏りが見られる結果となっています。

今後、より幅広い歴史的・文化的資源を活かした公園の整備を推進し、観光振興や活力に満ちた地域社会の実現を目指すためには、今回の 100 選のみをもって新たな時代に向けた歴史公園の代表的な事例を選定したとは言い難いという意見が、選定委員会において示されました。

このため、今回の選定結果を第一次選定として公表し、これを踏まえ、再度幅広く推薦を受け、第二次の選定とあわせて、日本を代表する歴史公園の選定を目指すことといたします。

第二次選定の実施に向けた、詳細等については、追って公表いたします。

日本の歴史公園100選一覧

平成18年10月5日

公園名	所在地	公園管理者	公園名	所在地	公園管理者
函館公園	函館市	函館市	岡崎公園	岡崎市	岡崎市
五稜郭公園	函館市	函館市	松阪公園	松阪市	松阪市
春採公園	釧路市	釧路市	金亀公園	彦根市	彦根市
明治公園	根室市	根室市	岡崎公園	京都市	京都市
青森県総合運動公園(遺跡区域)	青森市	青森県	福知山城公園	福知山市	福知山市
合浦公園	青森市	青森市	大阪城公園	大阪市	大阪市
鷹揚公園	弘前市	弘前市	加賀屋緑地	大阪市	大阪市
城山公園	青森県三戸町	三戸町	浜寺公園	堺市、高石市	大阪府
岩手公園	盛岡市	盛岡市	大仙公園	堺市	堺市
高田松原公園	陸前高田市	陸前高田市	百濟寺跡公園	枚方市	枚方市
青葉山公園	仙台市	仙台市	箕面公園	箕面市	大阪府
千秋公園	秋田市	秋田市	東遊園地	神戸市	神戸市
中央公園	秋田県小坂町	小坂町	相楽園	神戸市	神戸市
霞城公園	山形市	山形市	再度公園	神戸市	神戸市
南湖公園	白河市	白河市	姫路公園	姫路市	姫路市
偕楽園	水戸市	茨城県	明石公園	明石市	兵庫県
大室公園	前橋市	前橋市	赤穂城跡公園	赤穂市	赤穂市
甘楽総合公園	群馬県甘楽町	甘楽町	国営飛鳥歴史公園	奈良県明日香村	国
諏訪尾余緑地及び鏡木緑地保全地区	佐倉市	千葉県、佐倉市	伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡歴史公園	倉吉市	倉吉市
横利根開門ふれあい公園	香取市	香取市	城山公園	松江市	松江市
日比谷公園	東京都千代田区	東京都	後楽園及び烏城公園	岡山市	岡山県、岡山市
浜離宮恩賜庭園	東京都中央区	東京都	鶴山公園	津山市	津山市
小石川後楽園	東京都文京区	東京都	かもがた町家公園	浅口市	浅口市
六義園	東京都文京区	東京都	縮景園	広島市	広島県
元町公園	東京都文京区	文京区	中央公園	広島市	広島市
上野恩賜公園	東京都台東区	東京都	平和記念公園	広島市	広島市
旧岩崎邸庭園	東京都台東区	東京都	入船山公園	呉市	呉市
旧安田庭園	東京都墨田区	墨田区	三ツ城公園	東広島市	東広島市
旧古河庭園	東京都北区	東京都	香山公園	山口市	山口市
下宅部遺跡はっけんのもり	東村山市	東村山市	指月公園	萩市	山口県
三笠公園	横須賀市	横須賀市	吉香公園	岩国市	岩国市
鎌倉海浜公園稲村ガ崎地区	鎌倉市	鎌倉市	伊藤公記念公園	光市	光市
小田原城址公園	小田原市	小田原市	徳島中央公園	徳島市	徳島市
恩賜箱根公園	神奈川県箱根町	神奈川県	ドイツ村公園	鳴門市	鳴門市
新発田城址公園	新発田市	新発田市	栗林公園	高松市	香川県
斐太史跡公園	妙高市	妙高市	玉藻公園	高松市	高松市
高田公園	上越市	上越市	亀山公園	丸亀市	丸亀市
富岩運河及び富岩運河環水公園	富山市	富山県	城山公園	松山市	松山市
高岡古城公園	高岡市	高岡市	吹揚公園	今治市	今治市
兼六園及び金沢城公園	金沢市	石川県	城山公園	大洲市	大洲市
安宅公園	小松市	小松市	高知公園	高知市	高知県
養浩館庭園	福井市	福井市	為松公園	四万十市	四万十市
岡津製塩遺跡	小浜市	小浜市	舞鶴公園	福岡市	福岡市
亀山公園	大野市	大野市	石炭記念公園	田川市	田川市
西山公園	鯖江市	鯖江市	佐賀城公園	佐賀市	佐賀県
霞ヶ城公園	坂井市	坂井市	小城公園	小城市	小城市
万力公園	山梨市	山梨市	吉野ヶ里歴史公園	神崎市、佐賀県吉野ヶ里町	国、佐賀県
松本城公園	松本市	松本市			
上田城跡公園	上田市	上田市	上山公園	諫早市	諫早市
岐阜公園	岐阜市	岐阜市	別府公園	別府市	別府市
城山公園	高山市	高山市	岡城跡	竹田市	竹田市
旗本徳山陣屋公園	各務原市	各務原市	三島公園	大分県玖珠町	玖珠町
沼津御用邸記念公園	沼津市	沼津市	城山公園	延岡市	延岡市
楽寿園	三島市	三島市	特別史跡公園 西都原古墳群	西都市	宮崎県、西都市
秩父宮記念公園	御殿場市	御殿場市	国営沖縄記念公園(首里城地区)及び首里城公園	那覇市	国、沖縄県
鶴舞公園	名古屋市	名古屋市			
名城公園	名古屋市	名古屋市	座喜味城跡公園	沖縄県読谷村	読谷村

平成 18 年 10 月 5 日

日本の歴史公園 100 選 選定基準

日本の歴史公園 100 選 選定審査会

「日本の歴史公園 100 選」実施要領及び推薦要領に基づき、地方公共団体及び個人等から推薦のあった 195 件の中から、下記「基本方針」及び「選定のポイント」により選定を行う。

なお、近接する公園など一体の公園として評価することが望ましいと判断されるものについては 1 つの公園として選定することができる。また、個々の公園における推薦数の多少については選定に影響を及ぼさないものとする。

記

【基本方針】

古代、中世、近世、近代等の時代や資源の内容にかかわらず、歴史的・文化的資源を適切に保存・再生・活用しながら、公園として一体性のある整備がなされている公園を選考する。(史跡のみを評価しない)

地域の象徴となり、観光振興・地域振興の拠点、郷土愛の醸成など、大きな効果を現に発揮している公園を選考する。

可能な限り時代や地域による偏りが生じないように選考する。

【選考のポイント】

「一体性」

歴史的・文化的資源を適切に保存・再生・活用し、優れた景観・環境が形成され、公園として一体性のある大きな魅力を創出していること

「観光振興・地域振興」

歴史的・文化的資源の魅力を地域・国の内外に広く伝え、多くの観光客が訪れるなど、地域の観光振興に大きく寄与していること

「象徴性」

地域を代表する名所・旧跡など、地域の顔となり、郷土に対する愛着心を醸成し、地域イメージの形成・確立に大きな効果を発揮していること

「良好な保全・管理」

歴史的・文化的資源を含む公園全体が地域住民等から愛着を抱かれ、良好な保全・管理がなされていること

日本の歴史公園100選 選定審査会 委員

- 委員長 越澤 明 北海道大学大学院教授
- 本中 眞 文化庁文化財保護部記念物課主任文化財調査官
- 重田 雅史 国土交通省総合政策局観光地域振興課長
- 小川 陽一 国土交通省都市・地域整備局公園緑地課長
- 有路 信 (社)日本公園緑地協会常務理事
- 伊藤 英昌 (財)公園緑地管理財団副理事長
- 富田 祐次 (財)海洋博覧会記念財団理事長